

## 1 受審事業者

経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社レガーム	
名称：保育所ちやお	種別：小規模保育事業（A型）
代表者氏名：園長 西尾 千代子	定員：未満児19名
所在地：岐阜県恵那市大井町 2711-35	TEL：0573-26-2256
受審回数： 4回	
評価年月日（評価認定書の記載日）：令和元年12月24日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和3年3月12日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和4年3月18日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和5年8月1日	

## 2 総 評

保育所「ちやお」は、小規模保育事業A型保育所として平成29年10月に株式会社レガームが3歳未満児を対象に定員19名の施設として開設して6年半が経過した。恵那市では今後、3歳未満児の入所希望児童の増加が予想され、レガームでも受け入れの拡充について検討することになっている。

今回の継続評価は、保育内容のさらなる充実を期するため、関連項目（20項目）を中心に取組の現状を評価した。

### ◇特に評価の高い点

- ・年度末に職員間でクラスのカリキュラムや季節ごとのプログラム等の点検・見直しを行い、改善策を盛り込んだ内容に改めるなど、PDCAサイクルにもとづく取り組み体制が確保されている。
- ・小規模な未満児保育に特化した保育施設としての特徴を活かし、日々の保育活動の様子、給食メニュー、行事の案内、連絡事項等の他、給食の作り方、その食材を取り上げた理由、様子まで保護者が知りたいと思う情報を、毎日の園のブログで取り上げ伝えている。園からの連絡事項も、ラインを活用し保護者に伝えるなど、保護者が受け取りやすい形で行われている。個々には、毎日の連絡帳もあり、また相談体制も充実しており、保護者が安心して働くことができる支援の体制が整備されている。

## 3 第三者評価結果に対する事業所のコメント

毎年、第三者評価を受ける事で、見えていない部分の見直しになり、話をさせていただく事で気づかされたり、アドバイスが励みになり、貴重な時間を有難く思っております。

今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

**評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織**

**I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組**

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>施設長（園長）のリーダーシップのもと、職員会議の場を中心に保育課題等について協議するなど、保育の質の向上に向けた取り組みをしている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・カリキュラムを細かく見直し、昨年までの物をさらに肉付けし、保育活動に取り入れている。</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>年度末に職員間でクラスのカリキュラムや季節ごとのプログラム等の点検・見直しを行い、改善策を盛り込んだ内容に改めるなど、PDCAサイクルにもとづく取り組み体制が確保されている。また、第三者評価等の受審のほか、年1回保護者アンケート調査を行い保育活動に資するなど、保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p>	

**評価対象Ⅱ 組織の運営管理**

**Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成**

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>「申し送りノート」（職員全体で把握しておくことを記載するノート）を活用し、得られた諸課題等の情報を共有し、解決に取り組むことを通じて保育スキルの向上を図っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・毎日、各自が自分自身を振り返り、記録するようにしたことで、業務への意識が高まり、職員間のコミュニケーションの向上に繋がっている。</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>「期待する職員像」について、運営の見直し（点検）、職員間の連携・情報交換（共有）、保護者との信頼関係、危機管理意識の涵養と関係マニュアルの策定、職員の資質向上と研修参加等7項目を掲げ、全職員に周知している。職員は各自に業務の振り返りを記録（ノート記録方式）して業務の改善等に資したり、日々の「申し送りノート」の活用等を通じて保育スキルの向上に繋げる取り組みを行っている。その他、園長による個人面談や主任保育士等による個別相談など職員一人ひとりの育成に向けた取組が組織的に行われている。</p>	

**評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

**Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス**

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。
---

Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>衛生管理等に関するマニュアル等で対応している。その他、職員勉強会を開催して発生予防等に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの見直しや、予防対策についての話し合いを行い、職員全員が感染症についての理解を深め、実践している。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>2名の乳幼児救命救急資格取得（民間認定機関による認定制度）保育士が中心になり定期的に職員会議等の機会に勉強会を開催して、関係マニュアルの見直しや発生予防の周知に努めている。新型コロナウイルス感染症について、令和3年度から4年度の2年間に家庭内感染による発症は数例あったが、その都度マニュアルに基づき対応している。その他、保護者への情報提供についてもメール等による同時配信を行うなど、各種感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組が行われている。</p>	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>災害時対応策のマニュアルを整備すると共に避難訓練を実施している。避難訓練では常に「災害対応は自分たちのこと」の当事者意識をもって臨むようにしている。なお、新たに国等の補助金を活用して災害時対応備蓄倉庫を設置してオムツ等の必需品を備蓄した。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な避難訓練に加え、Jアラートの利用、抜き打ちなど、急な場合にマニュアル通りの体制が取れるかを確認するようにしている。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>災害時対応マニュアルのほか緊急時の職員、保護者連絡網を整備し、避難訓練（地震、水害、不審者、火災等）を年間計画に基き実施している。また、災害時対応備蓄倉庫の設置、全職員によるJアラート緊急速報メールの受信体制を整えるなど、災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>各種保育等記録（個別指導計画案、週案、月案、年案等）をパソコン処理化し、従前の手書き等による記録業務負担の軽減と記録の統一性を確保すると共に、職場内の情報の共有化に取り組んでいる。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の様子だけでなく、気になる点や特徴、援助の方法なども記載し、0歳→1歳→2歳へのつながり保育に役立つものへとしていく。</li> </ul>
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>市が定める各種保育等記録（個別指導計画案、週案、月案、年案等）は年度末にクラスごとに作成し、原案を主任保育士・園長等と協議し最終決定している。各種記録はパソコン処理し、記録業務の負担の軽減と統一性を確保すると共に、職員間の情報共有に資している。その他、いわゆる気になる子に対する記録について、その特徴や援助の内容などきめ細かく記録し、その子の成長に資する記録となるよう職員間で協議しながら対応している。</p>

#### 評価対象Ⅳ 保育内容

##### Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応を重点に取り組んでいる。特に毎日の体調チェック等は（登園前自宅チェック、登園後チェック、1日3回の保育室等の消毒など）市の対応方針に則して行っている。その他音楽遊びや運動遊びなど、遊び中心の保育に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年8月より、給食室の机にパーテーションを利用し、新型コロナウイルス及び感染症の対策を行っている。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>施工後6年半が経過しているが、園舎の屋内外とも清潔で整理整頓されている。給食は自園調理方式で、給食室も保育室とは別に設けるなど食事衛生面等への配慮も行き届いている。園舎と園庭は全ての保育室から直接出入りができ、明るく開放的である。園庭は水はけのよい設計で施工され遊具等も整っている。その他、園舎等の諸設備のメンテナンスは安心安全な保育の必要条件と捉え、環境整備や物品（備品）点検の担当係を設け定期的に点検と保守を行うなど、子どもが心地よく過ごすことのできる環境の保持に努めている。</p>	
Ⅳ-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>0歳児からオマルに座る練習や簡単な衣服の着脱（お座りして「靴下履き遊び」）や寝た姿勢で左右にゴロゴロ転がったり、風船を追いかけるなど、遊びを通して生活習慣の習得や自立を育てる取り組みをしている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12ヶ月児から、脱いだ衣服を簡単にたたむ事を、援助しながら行っている。</li> <li>・8ヶ月児から、自分の物と分かるように、牛乳パックで作った個々の椅子を活用している。</li> <li>・子どものできる事を増やし、自信に繋げている。</li> </ul>	

<b>継続評価結果</b>	
0歳児からオマルに座る練習や簡単な衣服の着脱、風船を追いかけるなど、自主的な遊びを通して基本的な生活習慣を身につけるようにしている。なお、適宜クラス内で行動観察を行い、個々の生活習慣の習得レベルを評価して次の援助に生かすようにしている。	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>3名の知育アドバイザー資格取得（3か月間のインターネット講習を経て試験合格で認証資格を取得）保育士が中心になり、新たに月齢や年齢に応じた多様な遊び（転がり・風船・前転等の遊び）を日常の保育の中に取り入れ、年齢や個々の特性に配慮した保育に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力作り、運動能力を身につけている。交通ルールを覚えられるようにしている。</li> <li>・花や虫に触れながら、季節や身近な自然を感じるようにしている。</li> </ul>	
<b>継続評価結果</b>	
知育アドバイザー有資格保育士が企画の中心になり、月齢や年齢に応じた多様な遊び（転がり・風船追いかけ・前転等の遊び）のできる機会を提供している。また、園庭での遊びのほか、1歳以上児クラスでは園外散歩等屋外活動を取り入れ、季節の草花や虫など自然とのふれあいや地域の人たちとあいさつを交わすなど多様な体験が得られる保育に取り組んでいる。	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>乳幼児保育において最も大切にされなければならないのは、たくさん体を動かし、人と触れ合っていくことであると、保育指針において指摘がなされている。当園の周囲は住宅地であるが、少し行くと豊かな自然に恵まれた景観が担保されている。散歩は毎日のように行われ、また室内外での運動遊びも充実し、人、物との応答の豊かな状況が作り出されている。言語・認知的発達、安定した情緒を保ち、基本的な活動がベースになることを再認識し、今後とも豊かな保育活動が創造されることを期待する。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が子どもの限界を決めず、月齢以上の保育を行う事で、できる事を増やし、子どもの自信に繋げている。</li> </ul>	
<b>継続評価結果</b>	
月齢により発達段階が異なるので個別の対応を基本に、特に応答的な言葉かけや体を動かすことを中心に水分補給等健康管理にも留意しながら保育している。その他、保護者とは連絡ノートのほか、朝夕の送迎時には積極的に話しかけるなど、保護者との連携確保に努めている。	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

前回評価結果： a

この年代の子どもは、小走りができるようになり、ボキャブラリースパートと呼ばれる飛躍的な言語発達が認められる。こうした状況で保育は、豊かで創造的な活動を保証することが求められる。さらにまた、エネルギーに満ち溢れた子どもの欲求に応じていけば、将来へと導く大きな発達を保証することになる。その意味で家庭との連携を深めようとする取り組みは、慧眼であると称賛したい。単に活動を広めるだけでなく、自らの活動の検証となるのではないだろうか。また方法としても、パソコンの利用は先駆的で、成果の期待の大きいものと推奨され得るであろう。

施設の取り組み内容

- ・月齢以上の保育を行う事で、身の回りのことが一人でできるようになる。

継続評価結果

遊びを中心とした自発的活動や友だちとの関わり等を通じて、個々の表出する喜怒哀楽を受け入れながら寄り添うことを基本とした保育に留意している。幸い、この時期に散見される、いわゆる「かみつき」行動も皆無で推移している。なお、保護者には日々の園での様子等についてストレートに正直に伝えるオープンな関係づくりに留意すると共に、使用済みのオムツ（0・1・2歳児共通）は全て園で一括業者委託処分するなど、保護者負担の軽減に配慮している。

IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

前回評価結果： a

保育時間の長い子どもには、1日の生活を見通し、0・1歳児・2歳児と区別し、ゆったりと過ごすことができる家庭的な保育環境に配慮している。

施設の取り組み内容

- ・7時半から8時半、16時半から18時半は、合同保育を行い、異年齢の関わりを持つ事で、子ども達自身が他児との接し方を身につけている。
- ・保護者のお迎えが18時を過ぎる場合、夕飯に影響をしない程度のおやつを提供している。

継続評価結果

早朝時や延長時の合同保育の実施等、それぞれの園児の在園時間等を考慮し、綿密な保育計画を作成し、それに基づいた保育が実践されている。保護者のお迎えが18時を過ぎる場合には、夕飯に影響をしない程度のおやつを提供し、園児の生活リズムに配慮した食事の提供も行っている。

### IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
前回評価結果： a コロナ禍ということもあり子どもの健康管理については、マニュアルに従い十分な注意が払われている。また、SIDS（乳幼児突然死症候群）についての研修会のみならず、乳幼児救急救命についても学習がなされている。	

<b>施設の取り組み内容</b> ・37.5℃以上発熱した場合、保護者に様子を伝える。38.1℃以上発熱した場合、保護者に連絡をし、迎えに来てもらう。 ・感染症及び衛生面に配慮し、おやつ、食事前の手洗いの際、消毒入れの石鹸を使用し、室内に入る前、再度全身、手の消毒を行う。	
<b>継続評価結果</b> 熱中症、嘔吐、痙攣、ノロウイルス、異物混入、コロナウイルス等々、子どもの病気・事故等に備え、それぞれの症状等に合わせたマニュアルを整備し、園児の健康管理に活かしている。	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<b>前回評価結果：a</b> 健康診断は年2回実施、歯科検診は市の検診に行ってもらい、必ず母子手帳の確認をしている。予防接種等についても同様で必ず母子手帳を確認し、乳幼児期の保健に対する意識を保護者と園が共有し心と体作りをしている。	
<b>施設の取り組み内容</b> 歯の生え方、口腔内や皮膚の状態をチェックし保護者に伝えている。	
<b>継続評価結果</b> 園での2回の健康診断結果の他、毎月の身体測定の結果等も保護者に伝え、園と家庭とが協力し子育てを行っている。歯については、市の歯科健診結果を保護者から聞き記録すると共に、歯の生え方、口腔内や皮膚の状態は園でチェックし保護者に伝えている。	

#### IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<b>前回評価結果：a</b> 食の楽しさを、また安心・安全を大切にしていることが窺い知れる。とりわけランチルームを設けていること、配膳において保育士が直接携わり、一人ひとりを大切に、量の加減等に配慮を行っていることが特筆される。また食器の購入にもこだわりを持って行われ、ブログを通じて家庭への発信も逐次行われている。	
<b>施設の取り組み内容</b> ・毎日の給食メニュー、手作りおやつをブログにて発信をしている。 ・給食メニュー、食材を子ども達に伝え、興味を持ち、食べる事ができるようにしている。	
<b>継続評価結果</b> ・食育に関する資格を有する調理員を配置するなど、食育に力を注いでいる。給食メニュー、食材を子ども達に伝え、興味を持ち、食べる事ができるようにしている。また、毎日の給食メニュー、手作りおやつをブログで保護者に発信し、家庭とも連携した取組が行われている。	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a

<p>前回評価結果： a</p> <p>園所属の栄養士により献立表が作成されている。給食室との連携は大変良好で、調理員、栄養士による食事の様子の参観も適切に行われている。また、子ども参加のクッキング教室の開催など何度も行き、食の大切さを伝える取り組みを積極的に行っている。</p>
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・園独自の調味料(味噌、ドレッシング、マヨネーズ、ポン酢)、午後のおやつを手作りし、提供している。</p>
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>園独自の調味料(味噌、ドレッシング、マヨネーズ、ポン酢)、午後のおやつを手作りするなど、子どもがおいしく安心して食事ができるよう、様々な工夫を凝らした食事が提供されている。</p>

## 評価対象V 子育て支援

### V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>常にコミュニケーションが取れる体制を整え、毎日の連絡帳を交換し合い、送迎時必要な伝達を行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・有資格者による育児相談、発達相談、医療相談の実施をし、保護者の不安や心配事に寄り添えるようにしている。</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>保護者とは、毎日の連絡帳を通じ、園児に関わる情報の交換を行い連携を図っている。また、園児に関わる緊急連絡もラインを活用し、随時連絡が取りあえる環境が整っている。</p>	

### V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>当園では保護者の安心を何より大切に、子育て支援体制が組まれている。園長が先頭に立ち、経験豊かな相談者となっていることは、保護者により頼もしく思えるのではないだろうか。また、日々の送迎の折のちょっとした会話による相談も記録され、職員会などで全職員の共有化が図られている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・保育に関する事（右脳教育、運動、食育）、生活に関する事（登降園について、体調不良時の対応、警報発令時の対応、感染症や病気の場合の対応）を園独自の冊子にし、配布している。</p>	



**継続評価結果**

保護者からの相談には、園長が対応し、保護者の不安や心配事に寄り添えるように配慮している。保護者の送り迎えの際のちょっとした相談事も、申し送りノートに記載し、職員間で共有し小規模園ならではのきめの細かい支援体制が構築されている。

**評価対象Ⅶ 個別サービス基準（岐阜県独自基準）****Ⅶ-1 安全管理面でのサービス**

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>マニュアルの作成、防犯カメラの設置とともに想定訓練も行われており、万全の体制が確保できるよう努めている。なお今年度の想定訓練では、各職員の役割の見直しが行われ、子どもを守るようとする意識の向上とともに、体制の整備を頑強なものにした。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉園後、駐車場出入り口にゲートをし、職員不在時の外部からの侵入を防いでいる。</li> <li>・防犯カメラを設置し、引き続き不審者等の防止策を行っている。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>外部からの侵入が懸念される場所には、防犯カメラを設置し、不審者等への防止策を講じている。また、防犯訓練も定期的実施し、安全管理を徹底している。</p>	

**Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション**

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>新たに保護者会を設立するなど、日頃から保護者との連絡、コミュニケーションが取れるよう努めている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児の親子行事として、外でできる行事を計画する。</li> <li>・職員自宅の畑を借り、サツマイモを作ってもらい、保護者の送迎により現地集合をし、親子で芋掘りを行う。その後各自、園へ戻る。</li> <li>・感染症に配慮し、園庭にて五平餅を握って食べ、五平餅会を行う。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>職員の自宅の畑を活用した親子のサツマイモ掘りや園庭で五平餅会を行うなど、保護者の保育参加を促す活動を行っている。また、毎日の園児の様子は、園のブログを活用し毎日配信されており、保護者の安心にも繋がっている。</p>	

**Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携**

	第三者評価結果

VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	a
<p>前回評価結果：a 未満児保育園なので、3歳以上児が新しい園に進級した後も、連携を図っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋頃、電話連絡にて、子どもの様子を伝えている。</li> <li>・ 卒園、転園の際には、園児の保育所児童保育要録を細かく作成し、各園へ申し送りをしている。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>園児の状況は、保育所児童保育要録を細かく作成し、各園への申し送りを行っている。書面以外でも面談や電話連絡等で、子どもの様子を伝えており、関係施設との連携が図られている。</p>	